

V. 特記事項

『東京未来大学独自のキャンパスアドバイザー制度によるエンrollment・マネジメントの実現』

1. 東京未来大学におけるキャンパスアドバイザー制度

学生の志願・入学から卒業・就職に至る全プロセスを一貫してサポートする大学の機能がエンrollment・マネジメント(以下「EM」という)である。このEM体制を、本学で中心的に担うのが、独自のキャンパスアドバイザー(以下「CA」という)制度であり、本学の学生支援体制における大きな特色となっている。本学の志願者数は平成30(2018)年度984名、令和元(2019)年度1,321名、令和2(2020)年度1,848名と確実に増加している。さらに、平成28(2016)年度～30(2018)年度の平均退学率は、競合校の平均値が11.8%であるのに対して、本学は3.4%である。また、本学の令和元(2019)年度の就職率でも97.0%といった実績をあげており、これらには、CA制度が大きく貢献している。

2. CAの具体的業務及び活動状況

CAは、次の4期に各種サポートを行っている。

- (1) 入学前：①年間35回程度実施されるオープンキャンパスの企画、準備、日程調整等。②キャンパス見学の企画、調整、当日の個別説明等対応。③進学ガイダンスの連絡調整、当日対応。④高校訪問の企画、担当者への説明、訪問実施。⑤本学公式ウェブサイト等各種媒体による広報活動。⑥教員との連携による入学前教育の支援。
- (2) 入学時：①各担当部局、学部専攻教員と連携した新年度オリエンテーションの企画運営、実施。②教員との連携によるスタートアップセミナーの開講。③履修相談及び身体、心理、学修、家計等の問題についての個別面談。
- (3) 在学中：①プロジェクト(未来祭、三フェス)活動に関連するクラス支援、実行委員学生支援。②成績、出欠席、大学生生活等確認のための学生面談。③GPA不良者に対するGPA面談及び履修支援。④障がいのある学生への対応、保護者対応。⑤キャリアセンターと連携したキャリア支援。
- (4) 卒業後：①卒業後の転職活動支援。②卒業生来学時の対応。③卒業生通信の発行送付、同窓会開催。

3. CA制度による成果及び評価体制

本学の志願者数の顕著な増大、退学率の低さ、就職率の高さは、大きな成果と認識している。CA制度の具体的評価のためには、毎年度各種アンケート、聞き取り調査が実施されており、概して良好な結果が得られている。「学生生活実態調査・卒業生アンケート」では、CAが悩みごとの相談対象となっていること、CA制度が進路選択や具体的活動に役立っていること、また、CAが強く関与するプロジェクト体験が社会に出て生きる力を育成していることが明らかになっている。また、1～4年生を対象とした「学生成長実感シート」では、約85%の学生が「担当CAによる成長実感」を得ており、自由記述では、日常的なCAとの関わりが諸活動への意欲を喚起し、将来への気づき等に繋がっていること、また、学生への聞き取りでは、GPA面談が学修への姿勢や取り組みを改善し、実際にGPAが向上したことが報告されている。